

# 東大和三中だより

令和元年11月27日

11月号 (No.7)

発行 東大和市立第三中学校

〒207-0016 東大和市仲原2-7

TEL 042-564-5411

## お礼状書きからの随想

副校長 戸田 恵介

11月6日(水)～8日(金)の3日間、2年生は職場体験をしました。それぞれに学校の授業とは違うおもしろさを体感できたことと思います。

事後の学習として、お世話になった事業所の皆様にお礼状を書きました。あらたまった手紙を書く際には、「拝啓」と「敬具」、時候のあいさつ、後付けの順序など、いろいろな約束事があり、「堅苦しいし、めんどくさいなあ」なんて思った人もいるのでは。しかし、基本の型があるからこそ、それにのっとって書いていけば、思いのほか簡単に書き上げることができるわけです。文面の下書きで、それを実感できたのではないのでしょうか。

苦労したのは清書でした。黒のペン書きで、修正液を使うのは失礼ですから、1字間違えただけで書き直しになります。末文の「御礼申し上げます」までやっとたどりついたのに、「御」の字の真ん中をうっかり「缶」と書き、全ておじゃんになってしまった人、いませんか？

さて、2年の国語の授業では、10月に兼好法師の随筆『徒然草』を学習しました。作者は、その第九二段で、弓の名人の話として、こんな言葉を紹介しています。

「初心の人、二つの矢を持つ事なかれ。後の矢を頼みて、初めの矢になほざりの心あり。毎度ただ得失なく、この一矢に定むべしと思へ。」

(訳：初心者は、2本の矢を持ってはならぬ。後の矢をあてにし、はじめに射る矢をいいかげんにする心があるからである。矢を射るたびにいつも、この1本の矢だけで必ず射当てようと思え。)

そして、この段を「このいましめ、万事にわたるべし。」(訳：この訓戒は、弓を射るときだけでなく、あらゆることに通じるであろう。)と結んでいます。

作者に言わせれば、手紙の清書も「万事」の一つに違いありません。紙はこの1枚しかないと思って書くべしということです。

一方で、テニスや9人制のバレーボールなどはサーブを2回打つことができます。そのおかげで、「2本目があるから、1本目は思い切って打とう。」という開き直った強い気持ちになれるのも確かなようです。

あなたは、どちらのタイプですか。それとも、時と場合によりますか。

鎌倉時代きっての知識人による著作は、現代人の思考をゆさぶります。



# 特集 三中の読書活動について

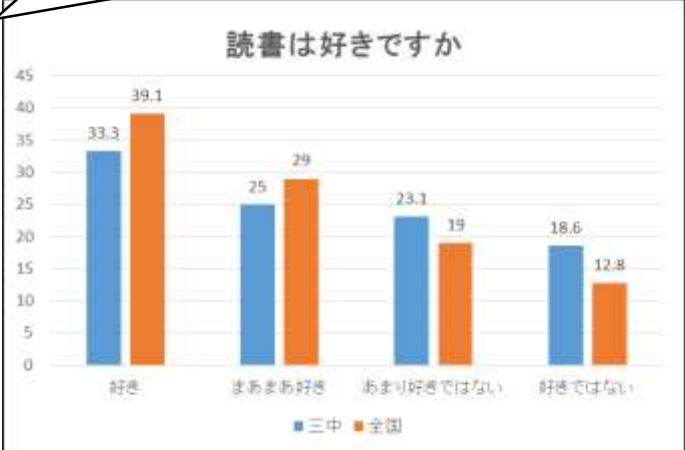


時候のあいさつに「灯火親しむの候」というのがあります。秋の夜長は、灯りの下で読書をするのにぴったりであることを表したものです。

しかし、この言葉がぴんと来なくなってしまうほど、日本人の読書離れは進んでいるようで…。文化庁がこの10月に発表した「平成30年度 国語に関する世論調査」では、「1ヶ月に1冊も本を読まない」と答えた人は、全体の47.3%でした。また、「読書量は減っている」と答えた人が67.3%で、5年前の調査よりも増加傾向にあるそうです。

では、三中生の現状はというと…。これもなかなか厳しい数字になっています。3年生を対象に4月に実施した「全国学力調査」において、下のグラフのように全国平均と比べても、読書への関心はかなり低いことがわかりました。

このような現状を改善したいと考え、少しでも読書好きの子を増やそうと様々な取組をしています。今回はそれらを紹介しましょう。



## 1 図書室に来たくなる環境づくり



図書館指導員の加藤さんによるステキなレイアウト。廊下の掲示板上に新しい本のカバーが貼られ、入ってすぐの机にはそれらの本や図書委員おすすめの本が並べられています。

## 2 図書委員の活躍

「おかえり、<sup>しん</sup>葉の場所で待ってるよ」  
(今年度の「読書週間」標語より)



昼休みの図書室の風景。静かな空間です。図書委員は、カウンターで図書の貸し出しの管理等をします。9月の1日あたりの平均利用者数は53人で、かなり多くの人々が利用していることをうれしく思います。また、貸出冊数は1日平均で4冊でした。



委員によるおすすめの本の紹介。その本への思いが伝わってきました。



委員は、毎日給食の時間に放送で本の紹介をしています。ある日の当番は、3年生でした。

「今日おすすめする本は、『みらいめがね』です。著者は、荻上チキです。この本は、荻上さんが社会問題や日常のささいな疑問、自分の人生観について語った短編集です。世界には様々な人がいて、同じこと、同じ物を見ているも、人それぞれが違う考え方、違う人生観のめがねで見ているから、たくさんの意見が生まれるのだということを、荻上さんの経験と取材、そしてイラスト担当のヨシタケシンスケさんのユーモアとアイディアあふれるさし絵で描かれています。おもしろいので、ぜひ読んでみてください。」

## 3 朗読劇場



11月25日(月)、26日(火)の昼休み、2回に分けてO・ヘンリーの短編「よみがえった良心」を読みました。副校長の朗読を、M 教諭が得意のギター伴奏で盛り上げます。この作品は、2人の<sup>おはこ</sup>十八番で、生徒に感動の涙を流させようと過去に何回も読んできたものです。映画のようなドラマチックな展開を楽しんでもらえたでしょうか。

# 「三中日記」より 三中ホームページにて、鋭意更新中!

## 2年 職場体験 11月6日(水)～8日(金)



合計35箇所の事業所にお世話になりました。店舗での販売や商品整理、保育園などでの園児の世話など多岐にわたる仕事を体験できました。

「働く」って結構大変だけれども、学校の授業とは違う楽しさを発見できたと思います。

## 道徳授業地区公開講座



11月2日(土)、3時間目の時間帯から全校生徒と保護者が体育館に集まり、講演会を行いました。講師はオペラ歌手の翠千賀さんです。オペラの名曲からJポップまでたっぷりと歌を聴かせてくださいました。歌の合間には生徒席まで降りてきて話を聞いたり話しかけたりしながら楽しい1時間でした。多くの生徒たちが本物の歌声に魅了されました。ありがとうございました。

## 3年 保健研究授業



11月6日(水)は、教育委員会教育指導課の学校訪問。午後は研究授業と協議会を行いました。

研究授業は、3年男子・保健の授業で、単元は「喫煙と健康」です。冒頭で写真の比較から生徒の関心を引く授業を展開して、活発な意見が飛び交いました。

研究協議会では、授業についての意見交換が活発に行われ、非常に有意義な時間になりました。